

Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



SIT038-P03

会場:コンベンションホール

時間:5月27日 14:00-16:30

防災科学技術研究所による陸上深層掘削 Continental deep drilling by NIED

松田 達生^{1*}, 小村 健太郎¹, 山田 隆二¹, 池田 隆司²
Tatsuo Matsuda^{1*}, Kentaro Omura¹, Ryuji Yamada¹, Ryuji Ikeda²

¹ 防災科学技術研究所, ² 北海道大学

¹NIED, ²Hokkaido Univ.

防災科学技術研究所（以下防災科研）では、これまで様々な目的で陸上深層掘削を実施してきた。比較的最近のものに関しては、各種学術論文や防災科研の研究報告・研究資料などで測定データ等の公開を行ってきた。しかし古い時代のものには、まだ公開されていないものもある。今回は、そのような掘削井の紹介を行う。

1980年代頃から、防災科研では地下水の観測や間隙水圧の測定、地殻応力の測定などの目的で関東及び東海地方を中心に10カ所「岩井（茨城県）160m、筑波（茨城県）600m、波崎（茨城県）800m、石下（茨城県）900m、千倉（千葉県）800m、都留（山梨県）450m、塩山（山梨県）200m、芦川（山梨県）203m、掛川（静岡県）203m、浜岡（静岡県）253m」で深層掘削を行ってきた。測定データとしては、地下水位、間隙水圧、地殻応力、各種物理検層、岩石試験等である。中にはデジタル化されていないデータも多く、公開までには時間が掛かるものもあるが、これらの基礎データは各地の構造及びその発達史を理解する上で大変貴重なものであり、まとめられた部分から順次公開していく予定である。

キーワード: 防災科学技術研究所, 陸上深層掘削, 地下水観測, 物理検層, 岩石試験, 応力測定

Keywords: NIED, Continental deep drilling, Underground water observation, Geophysical logging, Rock examination, Stress measurement